

岡本 吉央
okamotoy@uec.ac.jp

電気通信大学

2017年11月21日

最終更新：2017年11月20日 11:19

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 1 / 58

スケジュール 後半 (予定)

- | | |
|-----------------------------|---------|
| ⑧ 離散確率論：確率の復習と確率不等式 | (12/5) |
| * 中間試験 | (12/12) |
| ⑨ 離散確率論：確率的離散システムの解析 | (12/19) |
| ⑩ 離散確率論：乱択データ構造とアルゴリズム (基礎) | (1/9) |
| ⑪ 離散確率論：乱択データ構造とアルゴリズム (発展) | (1/16) |
| ⑫ 離散確率論：マルコフ連鎖 (基礎) | (1/23) |
| ⑬ 離散確率論：マルコフ連鎖 (発展) | (1/30) |
| * 予備日 | (2/6) |
| * 期末試験 | (2/13?) |

注意：予定の変更もありうる

スケジュール 前半 (予定)

- | | |
|------------------------|---------|
| ① 数え上げの基礎：二項係数と二項定理 | (10/3) |
| ② 数え上げの基礎：漸化式の立て方 | (10/10) |
| * 休講 (体育祭) | (10/17) |
| ③ 数え上げの基礎：漸化式の解き方 (基礎) | (10/24) |
| * 休講 (出張) | (10/31) |
| ④ 数え上げの基礎：漸化式の解き方 (発展) | (11/7) |
| ⑤ 離散代数：対称群と置換群 | (11/14) |
| ⑥ 離散代数：有限群 | (11/21) |
| ⑦ 離散代数：有限群の応用 | (11/28) |

注意：予定の変更もありうる

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 2 / 58

今日の目標

今日の目標

有限群に関する基礎的な用語が使えるようになる

- ▶ 群の定義, 単位元, 逆元
- ▶ 群の表示
- ▶ 群の同型性, 準同型性

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 3 / 58

目次

① 群の定義

② 置換群再考

③ 群の表示

④ 群の同型性と準同型性

⑤ 今日のまとめ

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 4 / 58

群の定義

群の例 (1)：整数と加法

整数全体の集合 \mathbb{Z} は加法 + に関して群となり、その群を $(\mathbb{Z}, +)$ と表す

群表 (ケーリー表とも呼ばれる)											
+	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
:											
-4	...	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	
-3	...	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	
-2	...	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	
-1	...	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	
0	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	
1	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	
2	...	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	
3	...	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	
4	...	0	1	2	3	4	5	6	7	8	
:											

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 5 / 58

群の構成要素

群は2つのものから定義される

- ▶ 集合 G
- ▶ G 上の演算。
 - ▶ $x, y \in G$ に対する演算結果が $x \circ y$
 - ▶ 演算は他の記号 (例えば, $*$, \cdot , \times , $+$ など) で表すことも多い
 - ▶ $x \circ y$ を単に xy と書くことが多い \leftarrow 今後これを用いることが多い

ただし、この G と \circ は次の条件を満たす必要がある

この2つを組にして、 (G, \circ) と群を表記する
(「 \circ 」を省略して、「 G 」だけで表記する場合も多い)

群の定義

群とは？

集合 G と G 上の演算 \circ の組 (G, \circ) が群であるとは、次を満たすこと

- ① ある要素 $e \in G$ が存在して、任意の $x \in G$ に対して

$$x \circ e = e \circ x = x$$

- ② 任意の要素 $x \in G$ に対して、ある要素 $y \in G$ が存在して

$$x \circ y = y \circ x = e$$

- ③ 演算 \circ は次の結合性を満たす：任意の $x, y, z \in G$ に対して

$$(x \circ y) \circ z = x \circ (y \circ z)$$

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 7 / 58

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 8 / 58

群の例(1)：整数と加法 — 1つ目の条件

整数全体の集合 \mathbb{Z} は加法 $+$ に関して群となり、その群を $(\mathbb{Z}, +)$ と表す

群表											
+	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
...	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
-4	...	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	...
-3	...	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	...
-2	...	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	...
-1	...	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
0	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
1	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	...
2	...	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	...
3	...	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	...
4	...	0	1	2	3	4	5	6	7	8	...
...

群の定義：単位元と逆元

群とは？

集合 G と G 上の演算 \circ の組 (G, \circ) が群であるとは、次を満たすこと

- ① ある要素 $e \in G$ が存在して、任意の $x \in G$ に対して

$$x \circ e = e \circ x = x$$

この e を G の単位元と呼ぶ

- ② 任意の要素 $x \in G$ に対して、ある要素 $y \in G$ が存在して

$$x \circ y = y \circ x = e$$

この y を G における x の逆元と呼び、 x^{-1} で表すことが多い

- ③ 演算 \circ は次の結合性を満たす：任意の $x, y, z \in G$ に対して

$$(x \circ y) \circ z = x \circ (y \circ z)$$

群の例(2)

$$G = \{x, y, z, w\}$$

群表		\circ	x	y	z	w
x	x	x	y	z	w	
y	y	y	z	w	x	
z	z	z	w	x	y	
w	w	w	x	y	z	

この表は次の関係を表している

$$\begin{aligned} x \circ x &= x, & x \circ y &= y, & x \circ z &= z, & x \circ w &= w, \\ y \circ x &= y, & y \circ y &= z, & y \circ z &= w, & y \circ w &= x, \\ z \circ x &= z, & z \circ y &= w, & z \circ z &= x, & z \circ w &= y, \\ w \circ x &= w, & w \circ y &= x, & w \circ z &= y, & w \circ w &= z \end{aligned}$$

群の例(3)

$$G = \{x, y, z, w\}$$

群表		\circ	x	y	z	w
x	x	x	y	z	w	
y	y	y	x	w	z	
z	z	z	w	x	y	
w	w	w	z	y	x	

この表は次の関係を表している

$$\begin{aligned} x \circ x &= x, & x \circ y &= y, & x \circ z &= z, & x \circ w &= w, \\ y \circ x &= y, & y \circ y &= x, & y \circ z &= w, & y \circ w &= z, \\ z \circ x &= z, & z \circ y &= w, & z \circ z &= x, & z \circ w &= y, \\ w \circ x &= w, & w \circ y &= z, & w \circ z &= y, & w \circ w &= x \end{aligned}$$

群の例(1)：整数と加法 — 2つ目の条件

整数全体の集合 \mathbb{Z} は加法 $+$ に関して群となり、その群を $(\mathbb{Z}, +)$ と表す

群表											
+	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
...	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
-4	...	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	...
-3	...	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	...
-2	...	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	...
-1	...	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
0	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
1	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	...
2	...	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	...
3	...	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	...
4	...	0	1	2	3	4	5	6	7	8	...
...

群ではない例

- ① 整数全体の集合 \mathbb{Z} は乗法 \times に関して群になる？

▶ ならない (なぜ?)

- ② 有理数全体の集合 \mathbb{Q} は乗法 \times に関して群になる？

▶ ならない (なぜ?)

- ③ 実数全体の集合 \mathbb{R} は減算 $-$ に関して群になる？

▶ ならない (なぜ?)

群の例(2)

$$G = \{x, y, z, w\}$$

群表		\circ	x	y	z	w
x	x	x	y	z	w	
y	y	y	z	w	x	
z	z	z	w	x	y	
w	w	w	x	y	z	

これが群であるための条件を満たしていることを確認

- ▶ 単位元は？

▶ x の逆元は？ y の逆元は？ z の逆元は？ w の逆元は？

- ▶ 結合性は？ (例えば、 $(y \circ w) \circ z = y \circ (w \circ z)$)

群の例(3)

$$G = \{x, y, z, w\}$$

群表		\circ	x	y	z	w
x	x	x	y	z	w	
y	y	y	x	w	z	
z	z	z	w	x	y	
w	w	w	z	y	x	

これが群であるための条件を満たしていることを確認

- ▶ 単位元は？

▶ x の逆元は？ y の逆元は？ z の逆元は？ w の逆元は？

- ▶ 結合性は？ (例えば、 $(y \circ w) \circ z = y \circ (w \circ z)$)

群の例 (4)

$$G = \{e, a, b, x, y, z\}$$

○	e	a	b	x	y	z
e	e	a	b	x	y	z
a	a	x	y	e	z	b
b	b	z	e	y	x	a
x	x	e	z	a	b	y
y	y	b	a	z	e	x
z	z	y	x	b	a	e

この表は次の関係を表している

$$\begin{aligned} e \circ e &= e, & e \circ a &= a, & e \circ b &= b, & e \circ x &= x, & e \circ y &= y, & e \circ z &= z, \\ a \circ e &= a, & a \circ a &= x, & a \circ b &= y, & a \circ x &= e, & a \circ y &= z, & a \circ z &= b, \\ b \circ e &= b, & b \circ a &= z, & b \circ b &= e, & b \circ x &= y, & b \circ y &= x, & b \circ z &= a, \\ x \circ e &= x, & x \circ a &= e, & x \circ b &= z, & x \circ x &= a, & x \circ y &= b, & x \circ z &= y, \\ y \circ e &= y, & y \circ a &= b, & y \circ b &= a, & y \circ x &= z, & y \circ y &= e, & y \circ z &= x, \\ z \circ e &= z, & z \circ a &= y, & z \circ b &= x, & z \circ x &= b, & z \circ y &= a, & z \circ z &= e \end{aligned}$$

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 17 / 58

アーベル群

アーベル群とは？

群 (G, \circ) が **アーベル群** であるとは、次の性質を満たすこと

任意の $x, y \in G$ に対して、 $x \circ y = y \circ x$

この性質を **可換性** (交換性) と呼ぶ

- ▶ アーベル群は **可換群** とも呼ばれる
- ▶ アーベル群ではない場合、群は **非可換群** と呼ばれる

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 19 / 58

群 (G, \circ)

- ▶ $x \circ y$ とは書かずに、 xy と書くことが多い
- ▶ $x \circ x$ とは書かずに、 x^2 と書くことが多い
- ▶ $(x \circ y) \circ z$ と $x \circ (y \circ z)$ は同じなので、これらを $x \circ y \circ z$ と書き、もっと省略して xyz と書くことが多い
- ▶ xxx とは書かずに、 x^3 と書くことが多い
- ▶ x を n 個並べたものは x^n と書くことが多い
- ▶ x の逆元は x^{-1} と書くことが多い
- ▶ x^{-1} を n 個並べたものは x^{-n} と書くことが多い
- ▶ x^0 は単位元 e を表す

このとき、次の指掌法則が成り立つ

観察

任意の $x \in G$ と任意の整数 n, m に対して、 $x^n x^m = x^{n+m}$

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 21 / 58

目次

① 群の定義

② 置換群再考

③ 群の表示

④ 群の同型性と準同型性

⑤ 今日のまとめ

群の例 (4)

$$G = \{e, a, b, x, y, z\}$$

○	e	a	b	x	y	z
e	e	a	b	x	y	z
a	a	x	y	e	z	b
b	b	z	e	y	x	a
x	x	e	z	a	b	y
y	y	b	a	z	e	x
z	z	y	x	b	a	e

これが群であるための条件を満たしていることを確認

- ▶ 単位元は？
- ▶ G の各要素の逆元は？
- ▶ 結合性は？ (例えば、 $(x \circ y) \circ z = x \circ (y \circ z)$)

注意 : $a \circ y \neq y \circ a$ (可換性を満たさない)

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 18 / 58

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 23 / 58

岡本 吉央 (電通大)

離散数理工学 (6)

2017年11月21日 24 / 58

置換群は群

観察

置換群は写像の合成に関して群である

用語の対応

群	置換群
単位元	恒等置換
逆元	逆置換

対称群 S_3 の群表

○	e	(1 2)	(1 3)	(2 3)	(1 2 3)	(1 3 2)
e	e	(1 2)	(1 3)	(2 3)	(1 2 3)	(1 3 2)
(1 2)	(1 2)	e	(1 3 2)	(1 2 3)	(2 3)	(1 3)
(1 3)	(1 3)	(1 2 3)	e	(1 3 2)	(1 2)	(2 3)
(2 3)	(2 3)	(1 3 2)	(1 2 3)	e	(1 3)	(1 2)
(1 2 3)	(1 2 3)	(1 3)	(2 3)	(1 2)	(1 3 2)	e
(1 3 2)	(1 3 2)	(2 3)	(1 2)	(1 3)	e	(1 2 3)

置換群の群表 (2)

交代群 A_3 の群表

○	e	(1 2 3)	(1 3 2)
e	e	(1 2 3)	(1 3 2)
(1 2 3)	(1 2 3)	(1 3 2)	e
(1 3 2)	(1 3 2)	e	(1 2 3)

群の要素を作る

群 G

- ▶ $a \in G$ のとき, $a^2 \in G$, $a^3 \in G$, $a^4 \in G$, ...
 - ▶ $a, b \in G$ のとき, $ab \in G$, $a^2b \in G$, $aba \in G$, ...
- このように、要素を並べることで、 G の要素がどんどん作れる

群の表示

群の表示 : 例 (3) を見て

$$G = \{e, a, b, ab\}$$

○	e	a	b	ab
e	e	a	b	ab
a	a	e	ab	b
b	b	ab	e	a
ab	ab	b	a	e

別の書き方 (群の表示と呼ばれる) :

$$G = \langle a, b \mid a^2 = b^2 = e, ab = ba \rangle$$

読み方

- ▶ 「 a, b 」を並べることで G の要素はすべて表現できる
- ▶ 並べたとき、「 $a^2 = b^2 = e$, $ab = ba$ 」と置き換えてよい
- ▶ 置き換える規則は、これら (から導かれるもの) 以外にない

用語

- ▶ $\{a, b\}$ は G の生成系, 「 $a^2 = b^2 = e$, $ab = ba$ 」は関係式

群の表示

目次

① 群の定義

② 置換群再考

③ 群の表示

④ 群の同型性と準同型性

⑤ 今日のまとめ

群の表示

群の表示 : 例 (3) を見て

$$G = \{x, y, z, w\}$$

○	x	y	z	w
x	x	y	z	w
y	y	x	w	z
z	z	w	x	y
w	w	z	y	x

- ▶ $yz = w$ が成り立つ
- ▶ つまり、 y と z があれば、 w は復元できる (w はある意味で不要)
- ▶ x は単位元 (e と書く)
- ▶ y は $y^2 = e$ を満たす
- ▶ z は $z^2 = e$ を満たす
- ▶ y と z は $yz = zy$ を満たす (書き換えると $z^{-1}yzy^{-1} = e$)

群の表示

群の表示 : 例 (3) を見て

$$G = \langle a, b \mid a^2 = b^2 = e, ab = ba \rangle$$

簡約の例

$$\begin{aligned} ab^3a^3b &= abbbbaab \\ &= a(bb)b(aa)ab \\ &= aebeab \\ &= abab \\ &= a(ba)b \\ &= a(ab)b \\ &= aabb \\ &= ee \\ &= e \end{aligned}$$

群の表示：群の例 (2)

$$G = \{x, y, z, w\}$$

○	x	y	z	w
x	x	y	z	w
y	y	z	w	x
z	z	w	x	y
w	w	x	y	z

関係式

- 単位元は x (e と書くことにする)
- $y^2 = z$, $y^3 = zy = w$ (y があれば, z と w は表現できる)
- $y^4 = wy = e$

群の表示：群の例 (2)

$$G = \{e, a, a^2, a^3\}$$

○	e	a	a^2	a^3
e	e	a	a^2	a^3
a	a	a^2	a^3	e
a^2	a^2	a^3	e	a
a^3	a^3	e	a	a^2

群の表示

$$\langle a \mid a^4 = e \rangle$$

巡回群

(有限) 巡回群とは？

位数 n の巡回群とは、次の表示を持つ群 ($n \geq 0$ は自然数)

$$C_n = \langle a \mid a^n = e \rangle$$

例(2)は位数4の巡回群

注意

- $C_n = \{e, a, a^2, a^3, \dots, a^{n-1}\}$
- すなわち、 C_n の位数は n
- C_n はアーベル群 (演習問題)
 - ヒント： C_n の任意の要素はある自然数 k を用いて a^k と書ける

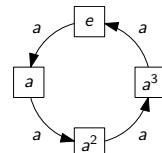
ケーリー・グラフ

群 G とその生成系 S

ケーリー・グラフとは？

 (G, S) のケーリー・グラフとは、次で定義される有向グラフ

- 頂点集合は G
- 弧 $(x, y) \in G \times G$ がある \Leftrightarrow ある $z \in S$ が存在して、 $y = xz$



群の表示：群の例 (4)

$$G = \{e, a, b, x, y, z\}$$

○	e	a	b	a^2	ab	ba
e	e	a	b	a^2	ab	ba
a	a	a^2	ab	e	ba	b
b	b	b^2	e	ab	a^2	a
a^2	a^2	e	ba	a	b	a^2b
ab	ab	b	a	ba	e	a^2
ba	ba	ab	a^2	b	a	e

群の表示

$$G = \langle a, b \mid a^3 = b^2 = abab = e \rangle$$

群の表示：群の例 (4)

$$G = \{e, a, b, x, y, z\}$$

○	e	a	b	x	y	z
e	e	a	b	x	y	z
a	a	a^2	ab	e	z	b
b	b	b^2	e	y	x	a
x	x	e	z	a	b	y
y	y	b	a	z	e	x
z	z	y	x	b	a	e

関係式

- $a^2 = x$, $ab = y$, $ba = z$ (a, b があれば, x, y, z は表現できる)
- $a^3 = e$, $b^2 = e$, $abab = e$

群の表示：群の例 (4)

$$G = \langle a, b \mid a^3 = b^2 = abab = e \rangle$$

簡約の例

$$\begin{aligned}
 aba &= ababb \\
 &= (bab)b \\
 &= eb \\
 &= b
 \end{aligned}
 \quad
 \begin{aligned}
 a^2ba^2b &= aabaab \\
 &= aabaeab \\
 &= aabbabab \\
 &= a(abab)bab \\
 &= aebab \\
 &= abab \\
 &= e
 \end{aligned}$$

二面体群

(有限) 二面体群とは?

位数 $2n$ の二面体群とは、次の表示を持つ群 ($n \geq 0$ は自然数)

$$D_n = \langle a, b \mid a^n = b^2 = abab = e \rangle$$

例(4)は位数 6 の二面体群

注意

- ▶ $D_n = \{e, a, a^2, \dots, a^{n-1}, b, ab, a^2b, \dots, a^{n-1}b\}$
- ▶ すなわち、 D_n の位数は $2n$
- ▶ $n \geq 3$ のとき D_n は非可換群 (演習問題)
 - ▶ ヒント : ab と ba を考える

目次

① 群の定義

② 置換群再考

③ 群の表示

④ 群の同型性と準同型性

⑤ 今日のまとめ

対称群の表示 (続き)

1つの表示法

\circ	e	a	b	bab	ba	ab
e	e	a	b	bab	ba	ab
a	a	e	ab	ba	bab	b
b	b	ba	e	ab	a	bab
bab	bab	ab	ba	e	b	a
ba	ba	b	bab	a	ab	e
ab	ab	bab	a	b	e	ba

つまり、

$$\langle a, b \mid a^2 = b^2 = ababab = e \rangle$$

対称群の表示：ここまでまとめ

3次の対称群 S_3 に対して、2つの表示が得られた

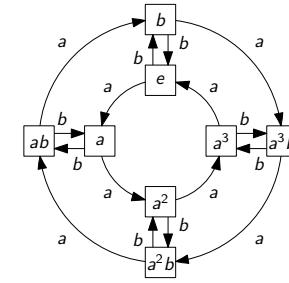
- ▶ $\langle a, b \mid a^2 = b^2 = ababab = e \rangle$
- ▶ $\langle x, y \mid x^2 = y^3 = xyxy = yxyx = xy^2xy^2 = e \rangle$

別の言い方をすると

- ▶ この2つの有限群は3次の対称群と同型である
- ▶ 同型な群は、本質的に「同じ」である

ケリー・グラフ：二面体群

$$D_4 = \langle a, b \mid a^4 = b^2 = abab = e \rangle$$



対称群の表示 (1)

対称群 S_3 の群表

\circ	e	$(1\ 2)$	$(1\ 3)$	$(2\ 3)$	$(1\ 2\ 3)$	$(1\ 3\ 2)$
e	e	$(1\ 2)$	$(1\ 3)$	$(2\ 3)$	$(1\ 2\ 3)$	$(1\ 3\ 2)$
$(1\ 2)$	$(1\ 2)$	e	$(1\ 3\ 2)$	$(1\ 2\ 3)$	$(2\ 3)$	$(1\ 3)$
$(1\ 3)$	$(1\ 3)$	$(1\ 2\ 3)$	e	$(1\ 3\ 2)$	$(1\ 2)$	$(2\ 3)$
$(2\ 3)$	$(2\ 3)$	$(1\ 3\ 2)$	$(1\ 2\ 3)$	e	$(1\ 3)$	$(1\ 2)$
$(1\ 2\ 3)$	$(1\ 2\ 3)$	$(1\ 3)$	$(2\ 3)$	$(1\ 2)$	$(1\ 3\ 2)$	e
$(1\ 3\ 2)$	$(1\ 3\ 2)$	$(2\ 3)$	$(1\ 2)$	$(1\ 3)$	e	$(1\ 2\ 3)$

 S_3 の表示は？

対称群の表示 (続き)

別の表示法

\circ	e	x	yx	xy	y	y^2
e	e	x	yx	xy	y	y^2
x	x	e	y^2	y	xy	yx
yx	yx	y	e	y^2	x	xy
xy	xy	y^2	y	e	yx	x
y	y	yx	xy	x	y^2	e
y^2	y^2	xy	x	yx	e	y

つまり、

$$\langle x, y \mid x^2 = y^3 = xyxy = yxyx = xy^2xy^2 = e \rangle$$

対称群の表示：ここまでまとめ

3次の対称群 S_3 に対して、2つの表示が得られた群 (G, \circ) と群 (H, \star)

群準同型写像とは？

(G, \circ) から (H, \star) への群準同型写像とは、写像 $\phi: G \rightarrow H$ で、次を満たすもの

任意の $x, y \in G$ に対して、 $\phi(x \circ y) = \phi(x) \star \phi(y)$

群同型写像とは？

(G, \circ) から (H, \star) への群同型写像とは、 (G, \circ) から (H, \star) への群準同型写像で、全単射であるもの

(G, \circ) から (H, \star) への群同型写像が存在するとき、 (G, \circ) と (H, \star) は同型であるという

対称群の表示：同型写像 (1)

3次の対称群 $S_3 = \{e, (1 2), (1 3), (2 3), (1 2 3), (1 3 2)\}$ に対して、2つの表示が得られた

- ▶ $G = \langle a, b \mid a^2 = b^2 = ababab = e \rangle$
 - ▶ $H = \langle x, y \mid x^2 = y^3 = xyxy = yxyx = xy^2xy^2 = e \rangle$
- 写像 $\phi: S_3 \rightarrow G$ として次を考える
- $$\begin{aligned}\phi(e) &= e, & \phi((1 2)) &= a, & \phi((1 3)) &= b, \\ \phi((2 3)) &= bab, & \phi((1 2 3)) &= ba, & \phi((1 3 2)) &= ab\end{aligned}$$

この ϕ は同型写像である。例えば

$$\phi((1 2)(1 3)) = \phi((1 3 2)) = ab = \phi((1 2))\phi((1 3))$$

対称群の表示：同型写像 (2)

3次の対称群 $S_3 = \{e, (1 2), (1 3), (2 3), (1 2 3), (1 3 2)\}$ に対して、2つの表示が得られた

- ▶ $G = \langle a, b \mid a^2 = b^2 = ababab = e \rangle$
- ▶ $H = \langle x, y \mid x^2 = y^3 = xyxy = yxyx = xy^2xy^2 = e \rangle$

写像 $\psi: S_3 \rightarrow H$ として次を考える

$$\begin{aligned}\psi(e) &= e, & \psi((1 2)) &= x, & \psi((1 3)) &= yx, \\ \psi((2 3)) &= xy, & \psi((1 2 3)) &= y, & \psi((1 3 2)) &= y^2\end{aligned}$$

この ψ は同型写像である。(証明は演習問題)

群準同型の性質：単位元

群 (G, \circ) と群 $(H, *)$, 群準同型 $\phi: G \rightarrow H$

群準同型の性質 (1)

G の単位元 e_G , H の単位元 e_H に対して,

$$\phi(e_G) = e_H$$

証明 : 群準同型の定義より

$$\begin{aligned}\phi(e_G) &= \phi(e_G \circ e_G) = \phi(e_G) * \phi(e_G) \\ \therefore \phi(e_G) * \phi(e_G)^{-1} &= \phi(e_G) * \phi(e_G) * \phi(e_G)^{-1} \\ \therefore e_H &= \phi(e_G)\end{aligned}$$

□

目次

① 群の定義

② 置換群再考

③ 群の表示

④ 群の同型性と準同型性

⑤ 今日のまとめ

対称群の表示：同型写像であることの確認 (1)

$$G = \langle a, b \mid a^2 = b^2 = ababab = e \rangle$$

同型写像であることを確認するためには

関係式を満たすことが確認できればよい

写像 $\phi: S_3 \rightarrow G$ として次を考える

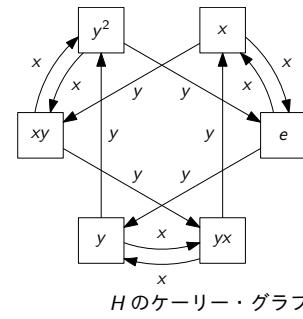
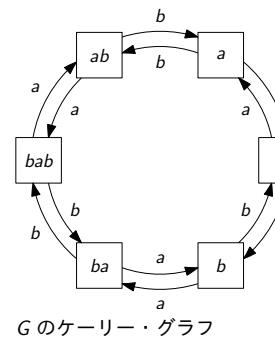
$$\begin{aligned}\phi(e) &= e, & \phi((1 2)) &= a, & \phi((1 3)) &= b, \\ \phi((2 3)) &= bab, & \phi((1 2 3)) &= ba, & \phi((1 3 2)) &= ab\end{aligned}$$

このとき,

$$\begin{aligned}a^2 &= \phi((1 2))\phi((1 2)) = \phi((1 2)(1 2)) = \phi(e) = e, \\ b^2 &= \phi((1 3))\phi((1 3)) = \phi((1 3)(1 3)) = \phi(e) = e, \\ ababab &= \phi((1 2))\phi((1 3))\phi((1 2))\phi((1 3))\phi((1 2))\phi((1 3)) \\ &= \phi((1 2)(1 3)(1 2)(1 3)(1 2)(1 3)) \\ &= \phi((1 3 2)(1 3 2)(1 3 2)) = \phi(e) = e\end{aligned}$$

ゆえに, ϕ は S_3 から G への群同型写像である

対称群の表示：ケーリー・グラフ



群準同型の性質：逆元

群 (G, \circ) と群 $(H, *)$, 群準同型 $\phi: G \rightarrow H$

群準同型の性質 (2)

任意の $x \in G$ に対して

$$\phi(x^{-1}) = \phi(x)^{-1}$$

証明 : 演習問題

今日の目標

今日の目標

有限群に関する基礎的な用語が使えるようになる

- ▶ 群の定義, 単位元, 逆元
- ▶ 群の表示
- ▶ 群の同型性, 準同型性

次回の予告

有限群の応用として, 次を扱う

- ▶ 15 パズル
- ▶ タイリング

- ▶ 演習問題をやる
 - ▶ 相談推奨 (ひとりでやらない)
- ▶ 質問をする
 - ▶ 教員と TA は巡回
- ▶ 退室時, 小さな紙に感想など書いて提出する ← **重要**
 - ▶ 内容は何でも OK
 - ▶ 匿名で OK